



仙台塩釜港（仙台港区）の概要

Overview of The Gateway of Tohoku Region "Port of Sendai"

2021年9月
宮城県土木部



トピックス

- 1 仙台塩釜港の概要
- 2 コンテナ定期航路等の就航状況
- 3 コンテナ貨物等の取扱動向
- 4 高砂コンテナターミナルの機能強化
- 5 蒲生北部地区の利活用状況
- 6 ポートセールスの取組状況
- 7 仙台港開港50周年について

1 仙台塩釜港の概要

東北唯一の国際拠点港湾「仙台塩釜港」

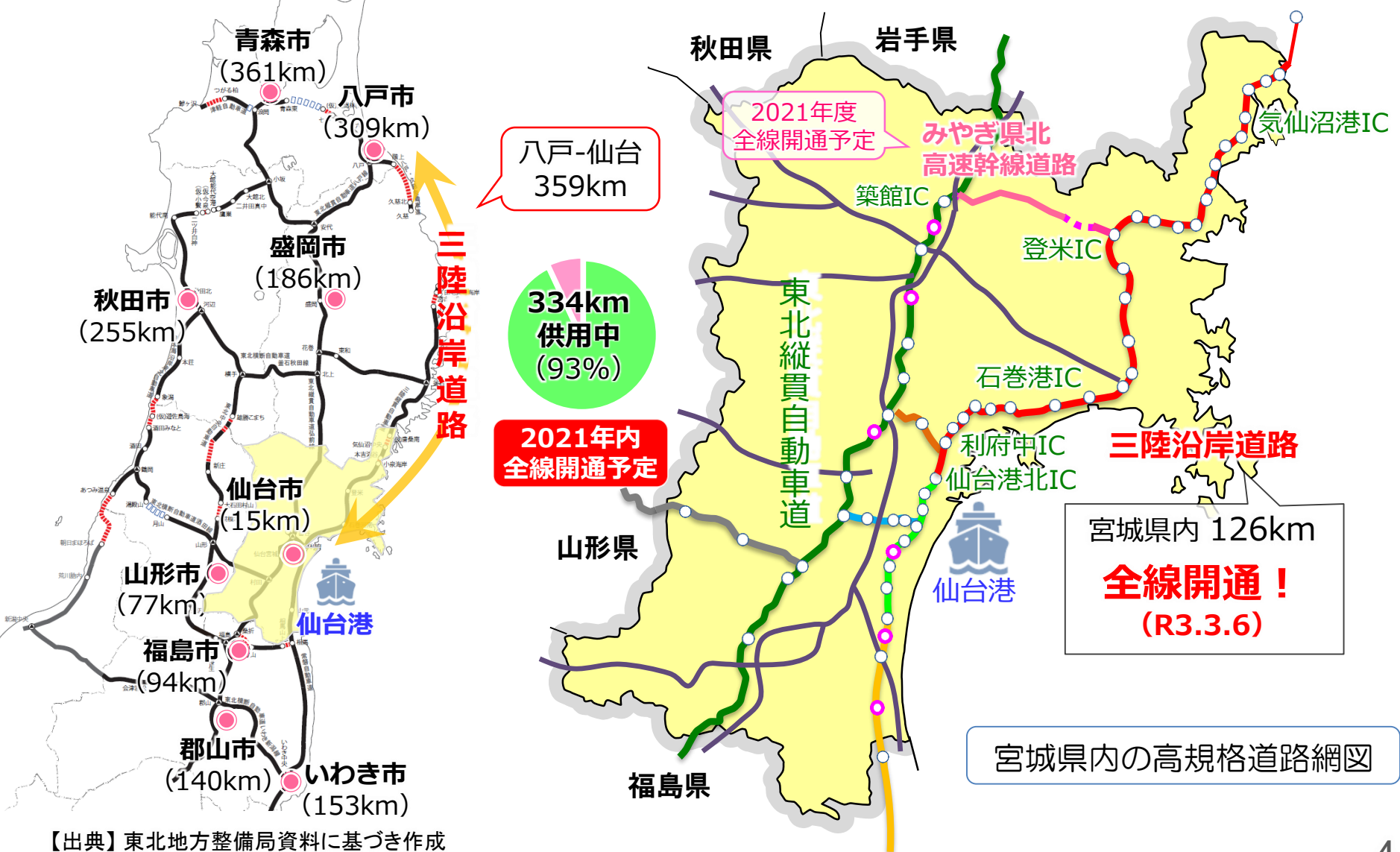
▽ 2012年10月に仙台塩釜港・石巻港・松島港の3港が統合し、現在の仙台塩釜港が誕生
→ 港区間の連絡性に優れ、三陸縦貫自動車道等の周辺道路網も充実した東北の物流拠点

仙台塩釜港の位置関係



“復興道路”の整備状況 ～東北各地に広がる交通ネットワーク～

東北の高規格道路網図 (2021年7月現在)



【出典】東北地方整備局資料に基づき作成

仙台港区鳥瞰図①



仙台港区鳥瞰図②



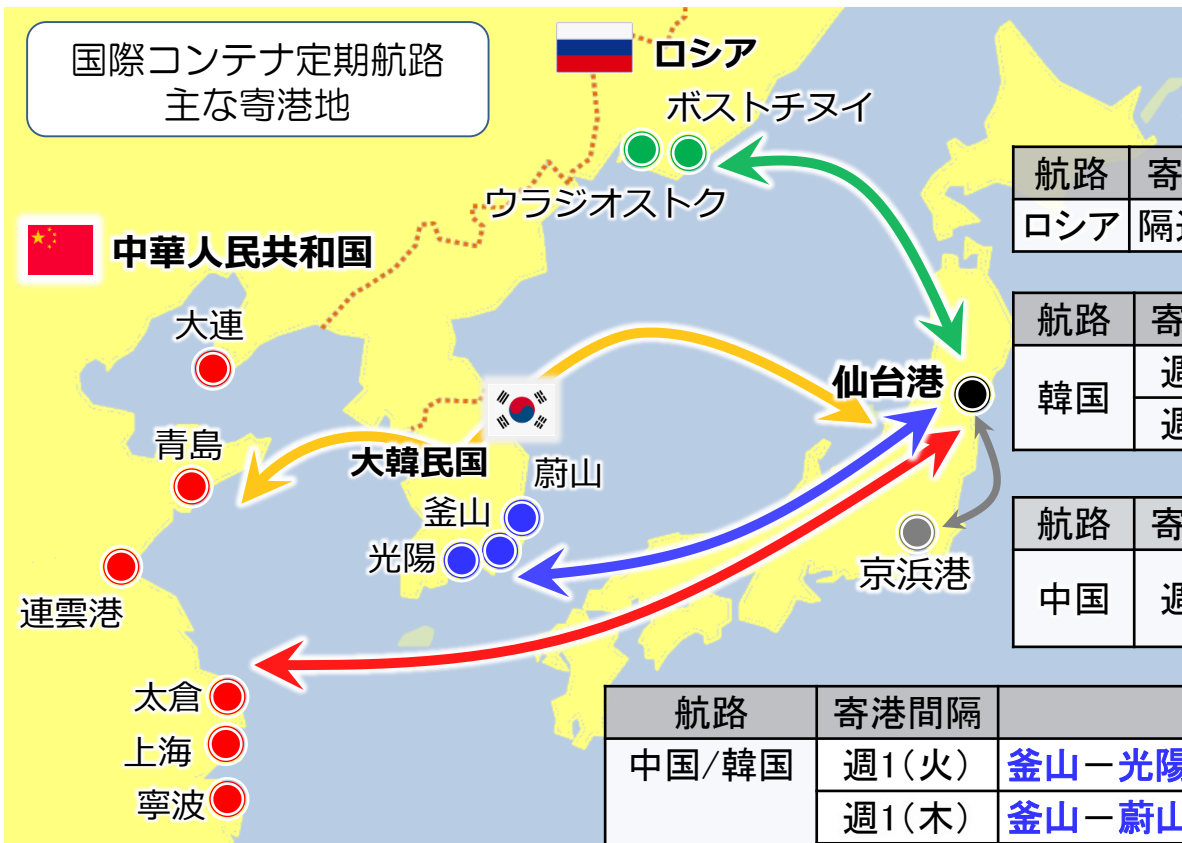
高松ふ頭まで
4km / 9分



2 コンテナ定期航路等の就航状況

国際コンテナ定期航路

▽ **中国・韓国航路**（週5便）、**韓国航路**（週2便）、**中国航路**（週1便）、**極東ロシア航路**（隔週1便）の4航路・9便が就航中（2021年8月末時点）



航路	寄港間隔	主な寄港地	船社名
ロシア	隔週1(水)	ウラジオストクーポストチヌイ	極東船舶

航路	寄港間隔	主な寄港地	船社名
韓国	週1(月)	釜山	長錦商船 興亜ライン
	週1(金)		

航路	寄港間隔	主な寄港地	船社名
中国	週1(木)	上海ー太倉	SITCコンテナ ラインズ

航路	寄港間隔	主な寄港地	船会社
中国/韓国	週1(火)	釜山ー光陽ー連雲港ー青島	南星海運 高麗海運 東暎海運
	週1(木)	釜山ー蔚山ー光陽ー寧波ー上海	
	週1(土)	釜山ー蔚山ー光陽ー上海ー寧波	
	週1(日)	釜山ー蔚山ー光陽ー大連	
	週1(日)	釜山ー蔚山ー光陽ー上海ー寧波	興亜ライン 長錦商船

国際フェーダーコンテナ航路

▽ 京浜港（東京・横浜）との航路を中心に **5 航路・週10便**が就航中（2021年8月末時点）

近海郵船(株) 鈴与海運(株)

寄港地	仙台	東京	仙台
-----	----	----	----

寄港間隔	週4回(水・土)
------	----------



(株)横浜コンテナライン

寄港地	仙台	横浜	苫小牧	八戸	仙台
-----	----	----	-----	----	----

寄港間隔	週1回(土)
------	--------



井本商運(株)

寄港地	仙台	東京	仙台
	仙台	横浜	仙台

寄港間隔	週4回(月・火・金・土)
------	--------------



鈴与海運(株)

寄港地	仙台	横浜	仙台
-----	----	----	----

寄港間隔	週1回(土)
------	--------



国内定期航路（コンテナ航路以外）

自動車運搬船・RORO船

船会社

栗林商船株



船会社

トヨフジ海運(株)・(株)フジトランスコーポレーション



船会社

プリンス海運(株)



フェリー

船会社

太平洋フェリー(株)

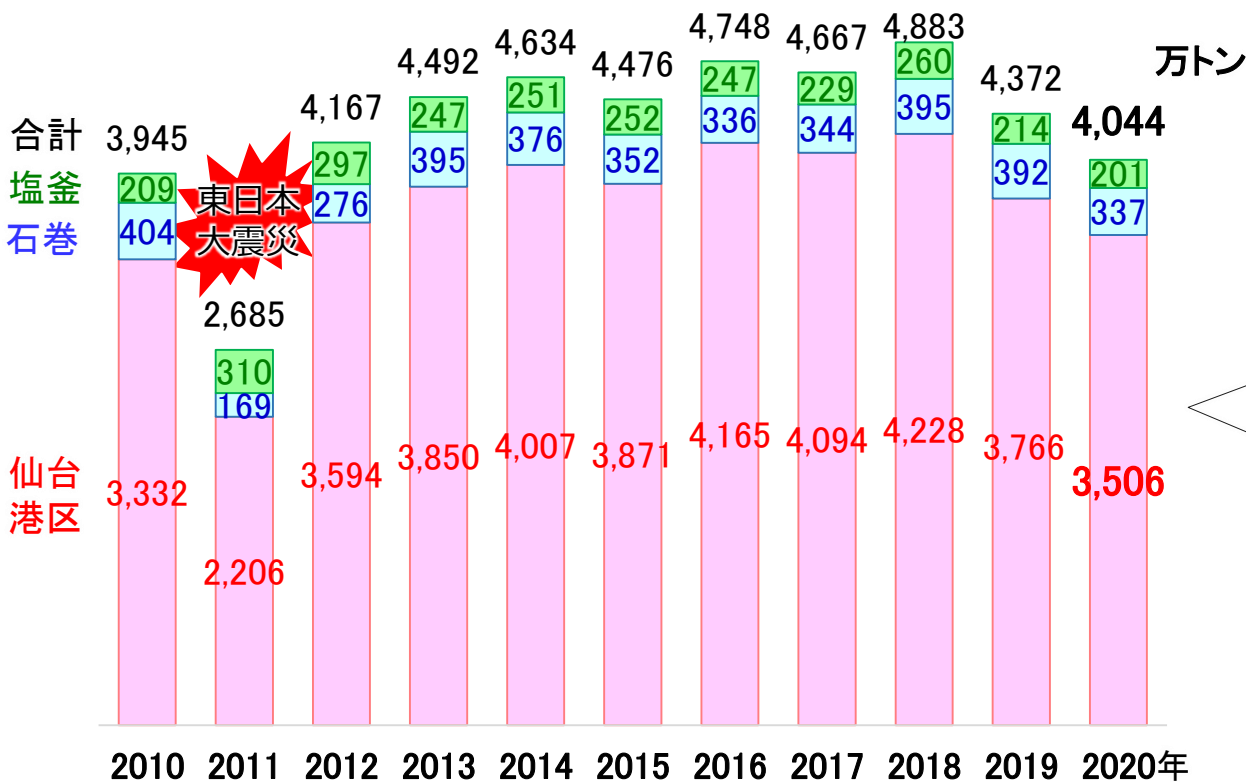


3 コンテナ貨物等の取扱動向

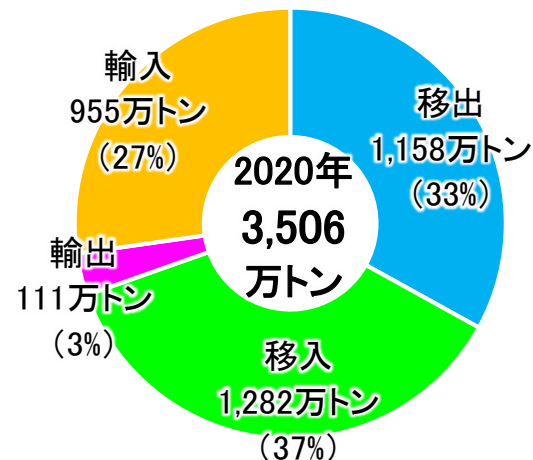
仙台塩釜港・取扱貨物量（コンテナ以外も含む/重量ベース）

▽仙台塩釜港全体の2020年の取扱貨物量は**4,044万トン**で前年から約**8%の減少**
うち、**仙台港区**は**3,506万トン**で全体の約**85%**を占めている。

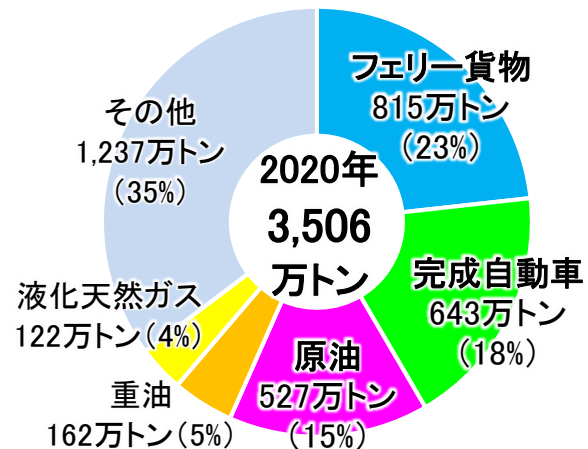
仙台塩釜港・取扱貨物量等の推移



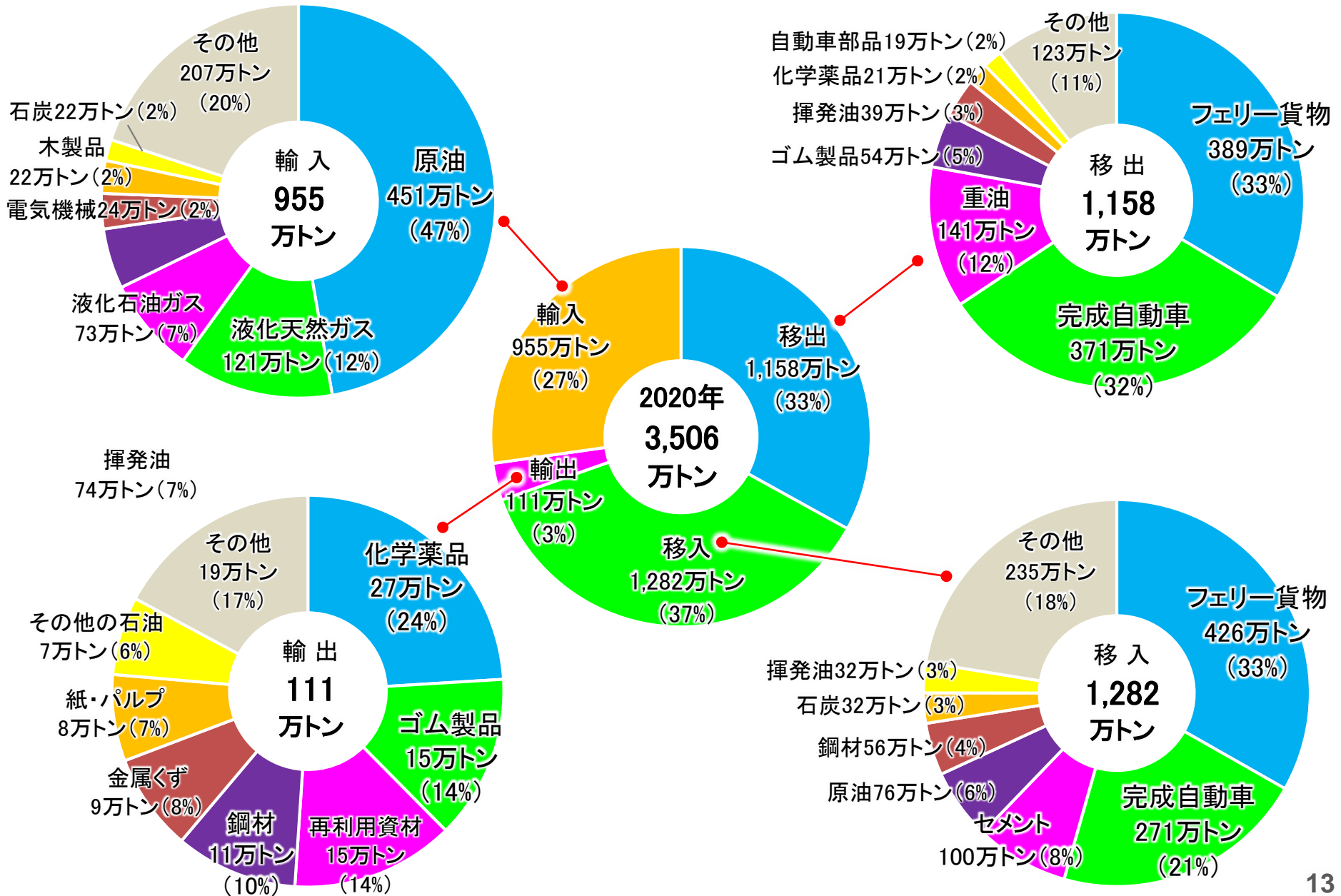
【取引別内訳】



【品種別内訳】



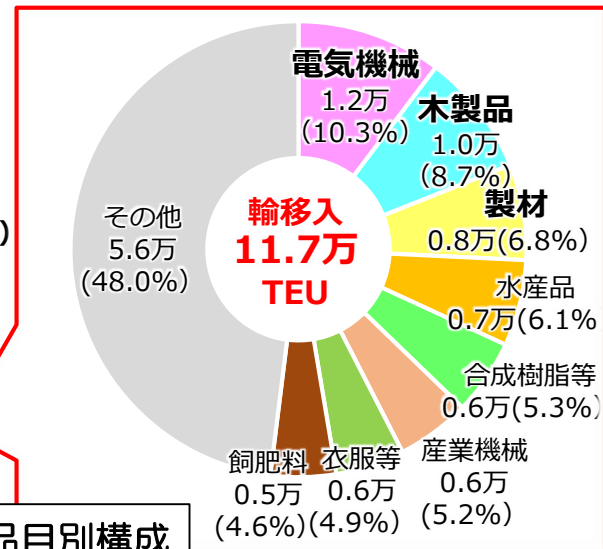
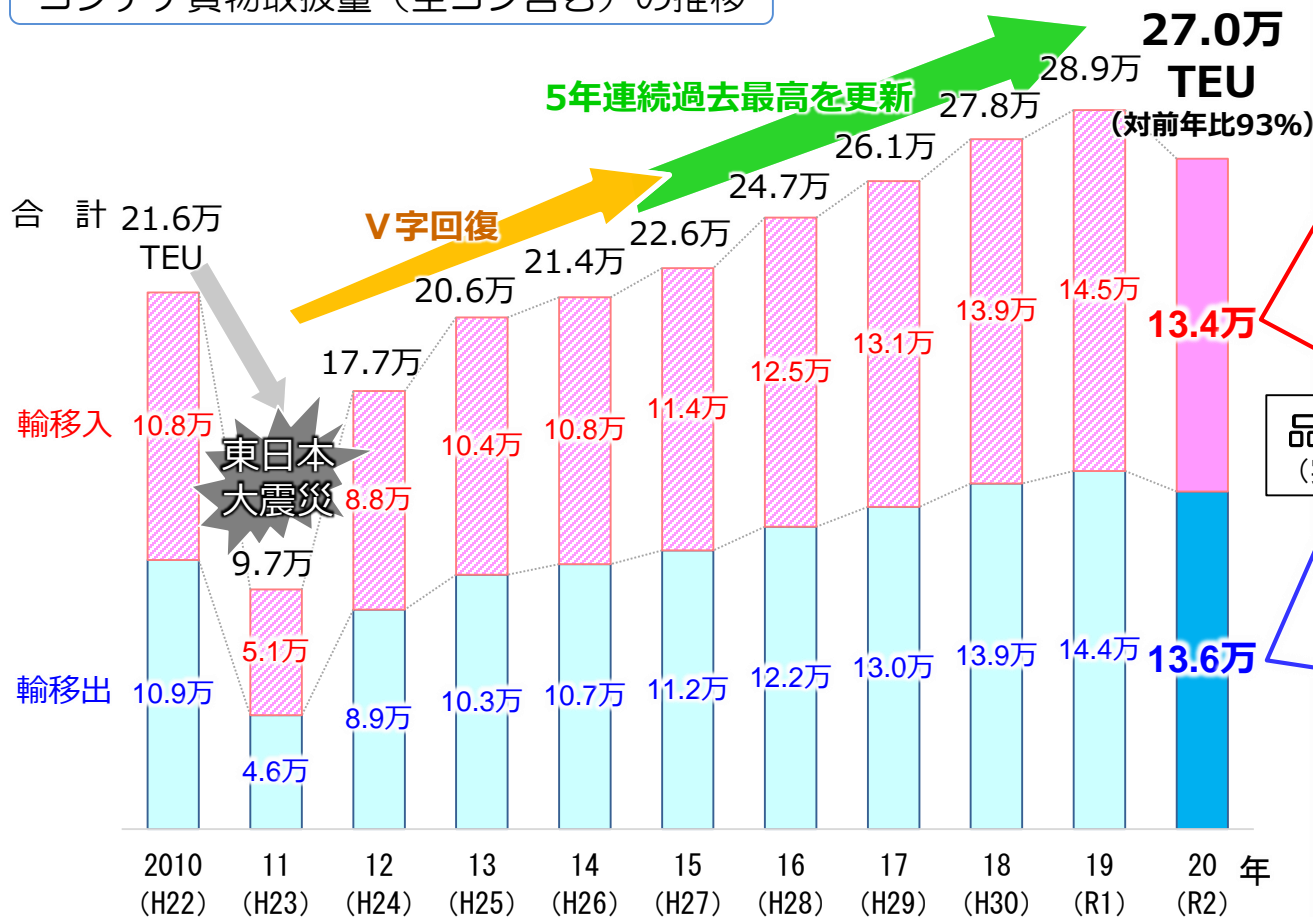
取引別の主な取扱品目（コンテナ以外も含む/重量ベース）



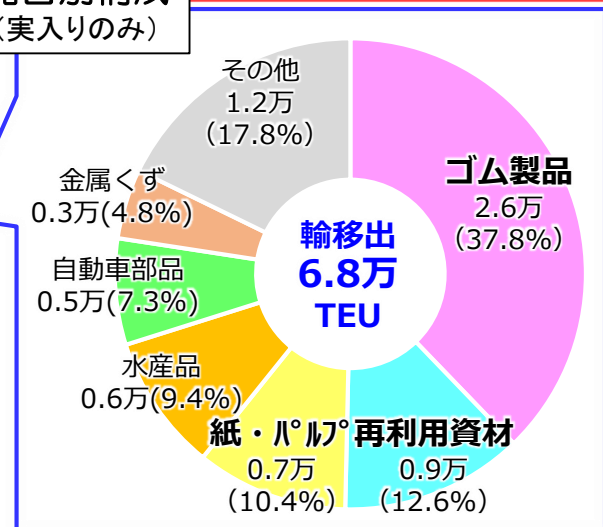
2020年 コンテナ貨物取扱量

▽ 2020年のコンテナ取扱貨物量は約**27.0万TEU**となり、**新型コロナウイルス感染拡大の影響**を受けて、前年から約**7%の減少**（東日本大震災前 2010年比：125%）

コンテナ貨物取扱量（空コン含む）の推移



品目別構成 (実入りのみ)



※ TEU :コンテナ取扱貨物量の単位。長さ20フィートのコンテナ1本を1TEU, 長さ40フィートのコンテナ1本を2TEUとカウント。

主要取引港 (2020年)

▽ コンテナ海上輸送による仙台港の輸出入実績は**110カ国・320港以上**



順位	港名	TEU
1	上海	20,858
2	釜山	17,677
3	ロサンゼルス	12,710
4	レムチャバン	8,109
5	青島	7,063
6	バンクーバー	6,326
7	ホーチミン	5,561
8	ハイフォン	4,789
9	大連	4,602
10	寧波	4,064
11	マニラ	3,806
12	スラバヤ	3,801
13	ジャカルタ	3,793
14	ポートケラン	3,531
15	天津新港	3,332
16	蛇口	3,321
17	ロッテルダム	3,312
18	マニラ	2,831
19	シンガポール	2,287
20	バンコク	2,033
21	香港	1,845
22	ジェベルアリ	1,827
23	高雄	1,776
24	サンクト・ペテルブルク	1,727
25	タコマ	1,631
26	ウラジオストク	1,557
27	廈門	1,513
28	ハンブルグ	1,440
29	サバンナ	1,255
30	仁川	1,209
31	ムンドラ	1,125
32	サザンプトン	1,110
33	連雲港	1,094

4 高砂コンテナターミナルの 機能強化

高砂コンテナターミナルの機能強化

- ▽ ターミナル用地の拡張及び岸壁整備を実施中（寄港便数増加等への対応）
- ▽ 用地拡張に加え、トラックゲート等の増設（コンテナ搬出入の迅速化）やリーファーコンテナ用電源の増設（食品の輸出入環境整備）等を行う予定

コンテナターミナル配置図



	2021年4月時点	2024年4月時点
ターミナル面積	27.6ha	→ 31.6ha
トラック出入口	2ヶ所 (実入り・空コン(仮設)別)	→ 2ヶ所 (実入り・空コン別)
トラックゲート	10ゲート (実入り8・空コン(仮設)2)	→ 13ゲート (実入り8・空コン5)
トランスファーポイント	2ヶ所	→ 2ヶ所
リーファーコンテナ	147個	→ 216個

高砂コンテナターミナルの主な施設

- ▽ 新たな実入りコンテナ用トラックゲート，管理棟が2020年4月より供用開始
→ トラックゲート数の増加により，コンテナ搬出入の効率化，トラック待機時間短縮によるドライバーの負担軽減が実現
- ▽ 同年12月には，コンテナフレートステーション（CFS）等を含む多目的置場が供用開始

トラックゲート（実入り）

2020年4月供用開始



8ゲート（実入りのみ）

※空コン用トラックゲートも今年度中に着工

【旧トラックゲート】



4ゲート（実入り+空コン）

新管理棟

RC造 地上4階建
建築面積 568㎡
延床面積 1,845㎡

2020年4月供用開始



多目的置場
（CFS等）

2020年12月供用開始

鉄骨造 地上1階建
建築面積 2,623㎡
最高高さ 18.76m



高砂コンテナターミナルの荷役機器

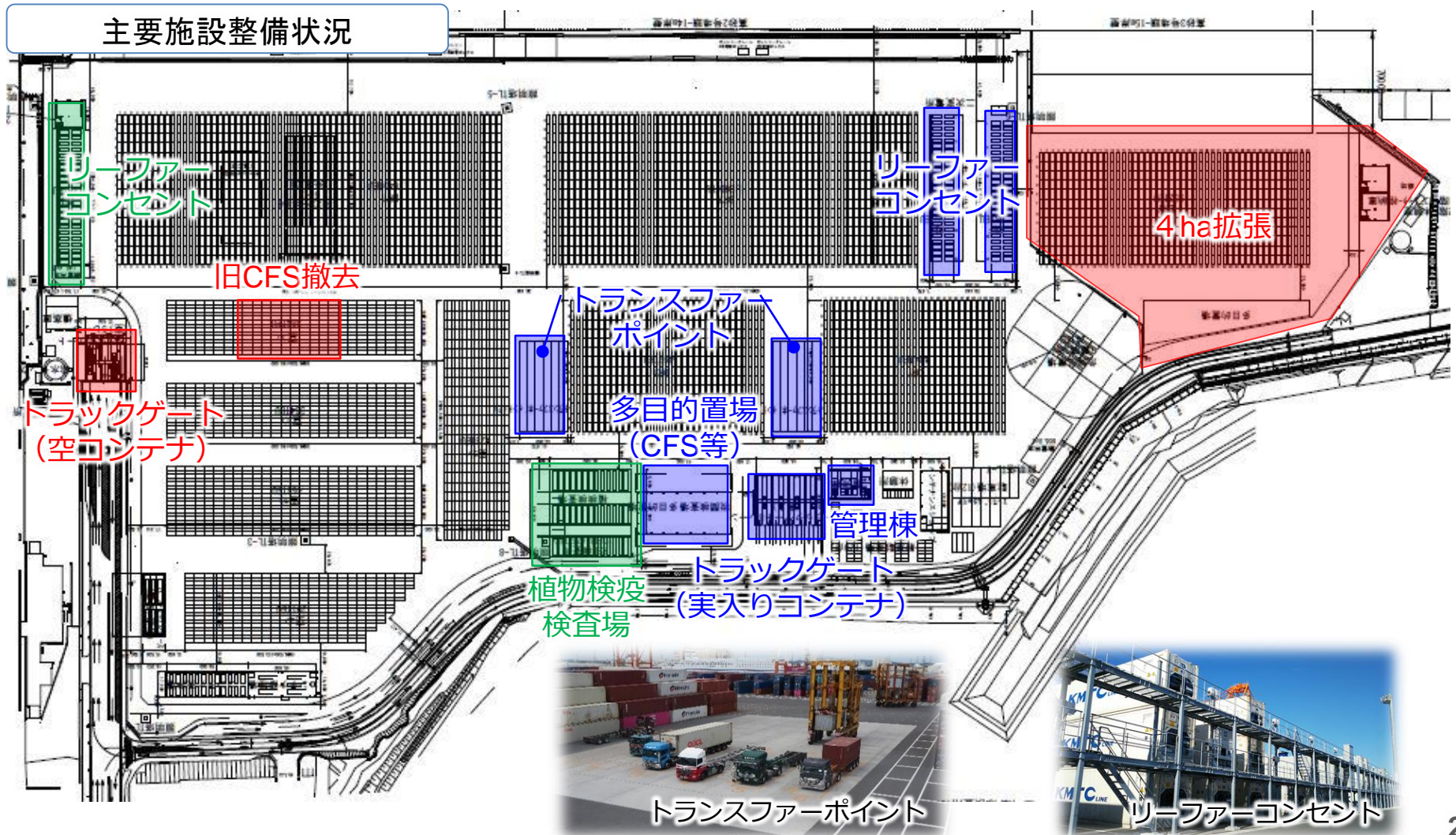


ガントリー クレーン	諸元	供用開始	吊上荷重	アウトリーチ	全揚程	対応列数
	1号	1995年	47.9トﾝ	37.0m	38.0m	13列
	2号	1997年	48.1トﾝ	37.5m	43.1m	13列
	3号	2002年	55.0トﾝ	45.5m	49.6m	16列
	4号	2009年	56.2トﾝ	51.0m	53.0m	18列

高砂コンテナターミナル整備状況

▽ 2022年4月（4ha拡張部分は2024年4月）の全面供用開始
を目指し施工中

完成	施工中
	施工予定



5 蒲生北部地区の利活用状況

蒲生北部地区の利活用状況①

- ▽ 土地区画整理事業（仙台市／約92.1ha）により，防災集団移転後の土地を整理集約38画地（約34ha）のうち，**25画地**（約29.5ha）について**事業者を決定**（2021.7月時点）
→ 仙台港区背後地における企業集積と仙台港の更なる利活用が期待される

蒲生北部地区・事業者決定済み(協議中を含む)及び事業者募集予定の位置図



蒲生北部地区の利活用状況②

- ▽ 仙台塩釜港（仙台港区）の物流機能の強化を図るため、2020年10月から地区内の一部を高砂コンテナターミナル サブヤード（シャーシ置場等）として利活用
- コンテナターミナルの混雑解消・貨物運搬の効率化に寄与



【サブヤード利用状況】



サブヤード概要

用途	原則としてシャーシ置場	貸付主体	仙台市
面積	23,500㎡	貸付単位	14m×3.5m駐車マス1区画(49㎡/台)
貸付区画	219区画	貸付期間	1年間
貸付対象者	①仙台港コンテナ利用促進協議会 会員企業(優先貸付) ② " 協議会 非会員企業		

6 ポートセールスの取組状況

港湾セミナーの開催

仙台港体験・視察セミナー

○ 2020年度は新型コロナウイルス感染予防対策のもと実施

日時	2020年9月8日(火)		
場所	仙台港・夢メッセみやぎ	参加者数	34名(定員40名) ※例年の1/2の定員
内容	現地視察	横浜税関仙台コンテナ検査センター フェリーふ頭・中野ふ頭・高松ふ頭 高砂コンテナターミナル, 蒲生北部地区	物流機能を 現場で体験
	講演	JETRO仙台, 県	貿易・通関実務の解説等

仙台港体験・視察セミナー



仙台港首都圏セミナー

- 2020年度は**首都圏を中心とした新型コロナウイルス感染拡大により中止**
- 代替として、首都圏企業約950社への仙台港PR資料・開港50周年ロゴマーク入りPRグッズの送付、仙台港紹介映像の作成による港PRを実施

【参考】2019年度 首都圏セミナー開催状況

日時	2020年1月28日(火) 15:00-18:20		
場所	ホテル椿山荘東京	参加者数	227社 521名(定員500名)
内容	名刺交換会	荷主企業限定の情報交換・交流促進	
	第1部	企業講演(株)ケーヒン・近海郵船株) 仙台港区の動向紹介(県), 新規航路紹介(南星海運)	
	第2部	立食形式の交流会	

仙台港PRグッズ



付箋セット



除菌スプレー



7 仙台港開港50周年について

開港からのあゆみ



2011年 東日本大震災



2020年 現在の高砂コンテナターミナル

高砂コンテナターミナル拡張・供用開始

2020

中国コンテナ定期航路開設

2018

高松2号ふ頭供用開始

2017

極東ロシアコンテナ定期航路開設

2015

仙台塩釜港、石巻港、松島港が統合

2012

東日本大震災発生、国際拠点港湾の指定を受ける

2011

中野地区モータープール供用開始、雷神ふ頭2号岸壁供用開始

2010

ガントリークレーン4号機供用開始

2009

横浜税関仙台コンテナ検査センターオープン

2006

ガントリークレーン3号機供用開始、中国／韓国コンテナ定期航路開設
国際フィーダーコンテナ定期航路開設（清水～東京～仙台）

2002



1996年 高砂コンテナターミナル共用開始

特定重要港湾昇格、仙台塩釜港に改称、高砂2号岸壁共用開始

2001

韓国コンテナ定期航路開設

2000

国際フィーダーコンテナ定期航路開設（横浜～仙台）

1998

ガントリークレーン2号機供用開始、北米西岸コンテナ定期航路開設（休止中）

1997

高砂コンテナターミナル供用開始

1996

ガントリークレーン供用開始、東南アジアコンテナ定期航路開設（休止中）

1995

中央公園（スリーエム仙台港パーク）完成

1992

国際フィーダーコンテナ定期航路開設（東京～仙台）

1990

公共岸壁一部供用開始フェリー就航（名古屋～仙台～苫小牧）

1973

開港式挙行、臨海鉄道開通

1971



1995年 ガントリークレーン共用開始



**国内・海外とのお取引には
是非仙台港の利用をご検討ください。**

【お問い合わせ】宮城県土木部港湾課（担当：振興班）

（電話）022-211-3221

（E mail）kousin@pref.miyagi.lg.jp

（HP）<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouwan/>